

第 125 回講演大会（東京都市大学）シンポジウム講演募集テーマ

S1 表面解析・評価技術の新展開

企画：学術委員会

(趣旨) 最近の表面解析・評価技術の進歩にはめざましいものがある。その結果、従来不可能であった表面や界面の構造、組成、特性などの評価が可能となってきた。本シンポジウムでは、表面解析・評価技術に関する発表および表面技術分野に応用した研究成果を発表していただくことにより、表面解析・評価技術の活用を考える契機になることを期待している。

S2 表面加工技術の最先端—機能性の発現と制御

企画：ナノテク部会

(趣旨) 高機能性の表面処理や被膜形成においては、近年、ますますその機能性の集積化と加工の簡便性、低コスト性への要求が高くなっている。本シンポジウムでは、機能性表面の加工法に焦点を当て、その加工法の詳細と、特に表面の微細構造や形状などに与える影響の視点からメカニズムに関する議論を行いたい。

S3 エレクトロニクス分野におけるマイクロ・ナノ表面技術の新展開

企画：表協エレクトロニクス部会

(趣旨) 当部会では春季講演大会時にシンポジウム「エレクトロニクス分野におけるマイクロ・ナノ表面技術の新展開」を継続的に開催し、進展著しいエレクトロニクス実装および関連分野における表面技術の最新情報を提供している。今回のシンポジウムにおいても、最新の情報を提供するとともに、一般講演および技術講演によって、当該分野の新しい展開を概観したい。

S4 めっき技術の将来展開

企画：将来めっき技術検討部会

(趣旨) 現在、日本の産業界は衰退の危機にあります。5-10 年先の「ものづくり」を考えていくためには、めっき技術の学術および応用両面からの検討が重要であると考えている。本シンポジウムでは、「将来のめっき技術」に関する萌芽的および学術的な研究とともに、様々な分野で試みられている応用例—ナノ粒子や自動車、医療、さらにそれを支えるエレクトロニクス分野からの発表により、「将来のめっき技術」について検討したい。

S5 アノード酸化による表面の機能化

企画：金属のアノード酸化皮膜の機能化部会（ARS）

(趣旨) 古くて新しいアノード酸化処理は、金属および半導体の表面処理技術として長い歴史を持つが、新規な表面特性の創製技術として近年ますます注目されている。本シンポジウムでは、アノード酸化技術による表面の機能化の新しい展開と可能性について検討したい。